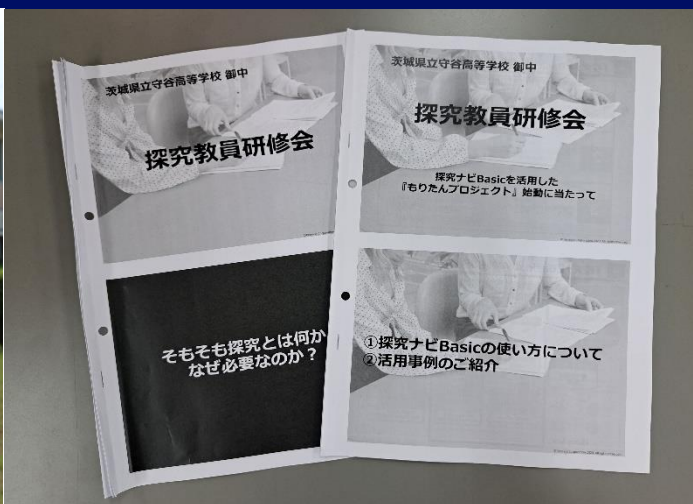


もり研 for Teachers



茨城県立守谷高等学校学習指導部 in 2023

5月の研修報告



今回は「総合的な探究の時間」について研修を実施しました。この「探究」という教科は私たち教員のほとんどがこれまでに習ったり、教えたりしたことがないものになります。どのように取り組んでいったらいいのか現在、手探りの状態です。まずは現場の目線合わせをしようと企画した研修会です。

【第1部…全職員対象】

★「そもそも探究とは何か？なぜ必要なのか？」

★先進校の事例紹介

【第2部…1学年教員対象】

★探究ナビ Basic を活用した

『もりたんプロジェクト』始動にあたって

1年生は6月から探究の授業をスタートします。学年団にどういうふうに進めていくのかのイメージを持ってもらえるような内容にしました。



講師：ベネッセコーポレーション本校担当浅井伸一さん
「生徒自身がワクワクする『問い』を『探』し、自分なりの『解』を『究』める」という言葉から研修会が始まりました。今までの入試で求められていた能力はもはや

AIの得意分野になっている。「知っていることをもとに、どう問題を解決するか、そして自分の力をどう世の中に活かすか、が「探究」では…」とありました。

今回、あらためて「総合的な探究の時間」の位置づけ、構造やポイントを学ぶことができました。

【総合的な探究の時間】のポイント

- ①「生徒自身」が自分事として自らの課題の設定をすること
- ②課題設定からまとめ表現までのプロセスを辿り、学びを深めること
- ③探究のプロセスが発展的に繰り返されること

また、第1部後半では全国の探究先進校の事例を紹介していただき、われわれの理解をより一層深めることができました。

